

〔管理者・保全団体〕 英照院（深瀬清光）

ポイント

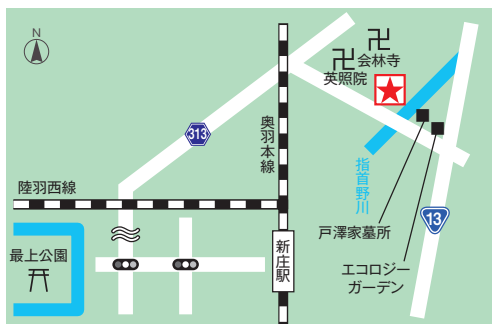
この湧水は、英照院の裏手の茂みの中。地面からひっそりと湧き出ている。表札のそばの湧水池からほど近い草むらの中が湧水地点。かつては、生活用水や稲作にも利用されていた。この清水が流れる小川にはイバラトミヨも生息している。隣接する英照院は、良縁成就や安産祈願で有名な寺院。早逝した宮子姫（新庄藩初代藩主戸澤政盛公の娘。1658年没）の菩提寺。「お姫様をお参りすると良縁に恵まれる」という噂が広まり、縁結びを願う人が訪れるようになった。



アクセス

 (北緯38.780750°、東経140.306031°)

新庄市内、国道13号線を北上し、新庄藩主戸澤家墓所への標識に沿って左折し西に向かう。途中、エコロジーガーデンを經由し、墓所を右手に道なりに進む。指首野川を渡るとすぐ右手が英照院。駐車場の奥から東側の茂みを望むと、清水の表札がある。駐車場は砂利敷きで、十分なスペースが確保されている。





しず すす 清水の清水

新庄市大字角沢



〔管理者〕 柿崎広昭 〔保全団体〕 柿崎広昭ほか

ポイント

新庄市の南西、角沢清水地区にあり、民家の入口角の石積みの中から豊富に湧出している。石積みのそばに水神様を祀っており、そこに湧いている水を導水している。この地区一体は、低山地帯の伏流水により古くから湧水に恵まれ、人々はその恩恵にあずかってきた。

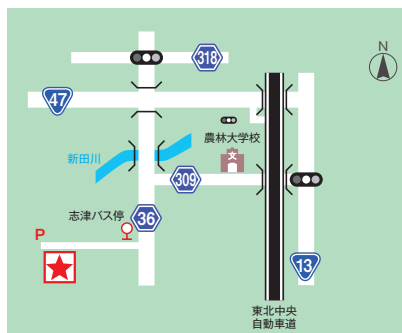
言い伝えでは、貧しい衣をまとった僧に水を差し上げたところ、感謝し錫杖で地面を突き水が湧きだしたと云う。この僧が弘法大師だったことから「弘法水」とも呼ばれている。



アクセス

 (北緯38.718583°、東経140.271555°)

県道318号線から県道36号線に入り南進する。新田川を渡り、県道36号線を南西に進むと清水地区の住宅が見え始める。清水バス停から右折して、地区内を数百m進むと右側に水田が開けて見える場所があり、その左後方、道沿いにある。車は、その先の広場に駐車可。





〔管理者〕 田屋地区 〔保全団体〕 田屋共栄会

ポイント

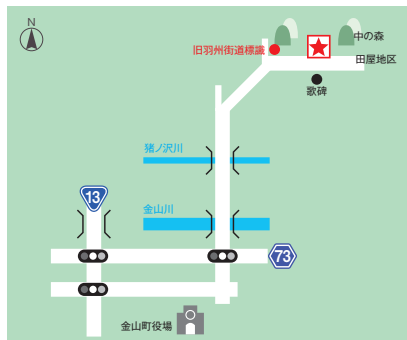
金山町役場から北に1kmほどの所に旧羽州街道の標識があり、その先の石をくり抜いた水槽に清浄な清水が流れ出ている。この地区は旧羽州街道によって、江戸時代以前から人の往来が盛んで森合峠の行き帰りにここの水で一息ついたのであろう。また、通りの向かい側にはこの地で出生した俳人「西田羽長坊」の歌碑等があり、自然豊かな杉林の中で文化的にも落ち着いて憩える場所である。



アクセス

(北緯38.891611°、東経140.334972°)

金山町役場近くの十字路を北に進み金山川、猪ノ沢川を渡り山に向かって進むと道路は二股に分かれ、そこを右に進むとすぐに左側に旧羽州街道の標識と石碑がある。そこからさらに50mほど先の左側の道路そばに「中の森長命水」の標識がある。駐車場はないが、交通量も少なく道も広いので車の駐車が可能である。





〔管理者〕 満沢神社 〔保全団体〕 満沢神社・上満沢観音講

ポイント

最上町の南部に位置する満澤地区内の「満沢薬師神社」そばに湧いている。県道262号は、過去には最上町から尾花沢市にぬける唯一の街道で、多くの旅人が通行したと言い、この水で喉を潤したであろう。四季を通して湧水量、水温が一定で、地区の人々にも愛されており、内外から汲みに来る人が多い。

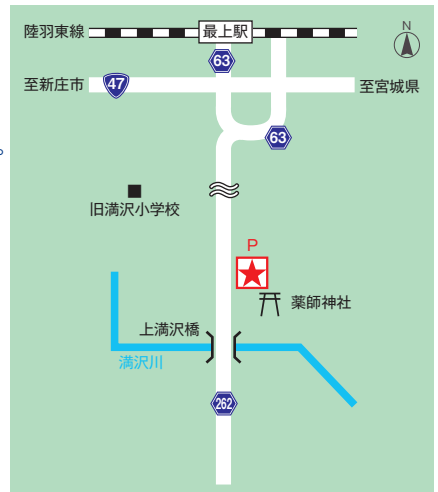


アクセス

(北緯38.720111°、東経140.511944°)

最上駅から県道63号線を南に進み、県道262号線との交差点を右折し南に進むと右側に旧満沢小学校がある。更に800mほど進むと橋の傍らに赤い鳥居の薬師神社があり、その境内に「薬師様の水」が出ている。

車を2台ほど駐車できる場所がある。





すずのかけ湧水 清水欠湧水

舟形町舟形



〔管理者〕伊藤清紀 〔保全団体〕縄文里の会

ポイント

この湧水は、JR舟形駅にほど近い、国宝「縄文の女神」が出土した場所に整備した「西ノ前遺跡公園」の奥にある。湧水は、公園の東側にある湿地帯の奥に湧き出ている。低い水温を活かして、かつてはセリやクレソンが栽培されていたこともある。湧水の脇には地域の人々が建立した庚申塔（こうしんとう）がある。

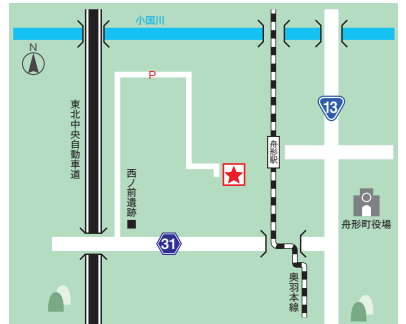
周辺は湿地帯になっており、絶滅危惧種イバラトミヨをはじめ様々な貴重動植物がみられ、自然観察にはもってこいの場所となっている。



アクセス

（北緯38.691665°、東経140.315072°）

舟形町内、舟形町役場近く、国道13号線から県道31号線を西に西ノ前遺跡公園方面に向かう。JRのアンダーパスをくぐり、東北中央自動車道と立体交差する誘道橋手前を右折し細道を北に進むと西ノ前遺跡公園が見えてくる。公園の東側にある駐車場に車を停めて、そこから更に徒歩で湿地帯に沿って東に100mほど進む。





おすすめ 大清水

～平成27年度選定～ Googleマップ

真室川町大字及位



〔管理者〕山形森林管理署最上支署 〔保全団体〕 甌山探究会

ポイント

真室川町の鏡沢地区の北、前森山林道の車止め付近のブナ林の中にある。甌山からの伏流水が湧き出て池になっており、毎分約500L以上もの清水が底から湧いている。真室川の源流の一つである。

周囲は美しいブナ林で、登山道が整備されており四季ごとの美しさを楽しめる。また、「森の巨人たち百選」にも選ばれた「女甌山の大カツラ」にも近い。



アクセス

(北緯39.018250°、東経140.324611°)

旧国道13号線から及位方面へ入り、県道35号線を1.5kmほど西に進み、奥羽本線の踏切を渡る。更に1.3kmほど進むと、道路左側に「女甌山の大カツラ150m」の標識があり、右に「森の巨人たち百選」「女甌山の大カツラ」の標識がある。そこから右折して林道に入り、標識に沿って10kmほど約25分進むと、広いスペースと車止めがある。そこに駐車し、左手に少し降りて行った所に「大清水」がある。





さ す な べ み ず 差首鍋のすず水

真室川町大字差首鍋



〔管理者〕 瀧應寺 〔保全団体〕 滝の上地区

ポイント

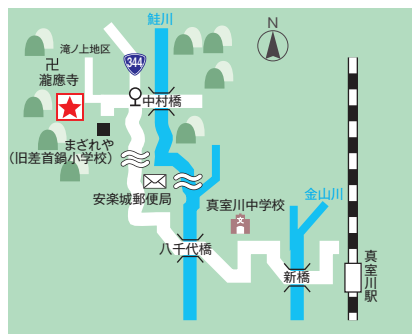
真室川町差首鍋の滝ノ上地区に、石造りの水場から澄んだ水が流れ出ている。この湧水の隣には地蔵様があり、延命地蔵として古くから知られている。この水を飲んで生活していた地域住民が、病に掛かりにくく長生きしたことから「延命水」とも呼ばれている。

差首鍋という地名の由来は諸説あるが、戦国時代この地は最上と庄内を結ぶ戦略的要衝であった。当時、最上義光軍が沓沢玄蕃の居城を包囲して城内を水不足にするべく企てたが、城内に湧水があり降伏しなかった。やがて湧水も枯れ細り、玄蕃の家来たちは次の手として、城壁の窓から「首」を「差」し出すように「鍋」を吊るしては眼下を流れる大沢川の水を汲み上げ、生き長らえたことから「差首鍋」となったという。



アクセス (北緯38.920745°、東経140.199982°)

真室川町役場より国道344号を酒田方面に10km程進む。町営バス停の「中村橋」がある十字路を左折し、滝ノ上地区集落内を100m程直進し、瀧應寺境内の下にある。





〔管理者〕 八楯健助 〔保全団体〕 八楯健助ほか

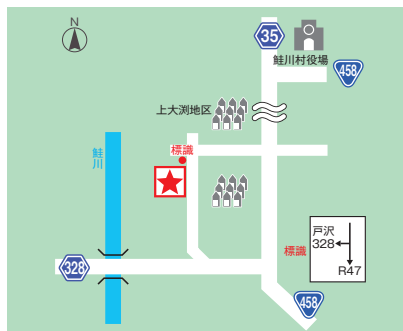
ポイント

鮭川村役場から約500m南下すると、右手に上大淵という40戸程の集落がある。その外れに湧水があり、江戸時代から利用されてきた。地区の方々以外にはほとんど知られていないが、米作りや約50年前までは米酢の醸造にも用いられており、地元の方々の生活に密着した貴重な存在であったのであろう。時代の流れと共に歩んできた湧水である。現在も夏場には野菜や果物を冷やしたり、漬物の保存のために使用されている。



アクセス (北緯38.786472°、東経140.217750°)

鮭川村役場からすぐの国道458号線を南下すると、約1kmで上大淵の集落に着く。右手に集落に入る道があるので、さらに300mほど道なりに進み、集落が途切れる十字路を左折すると、右手に「上大淵小助の清水」の看板がある。湧水前の道路の交通量は少ないが、駐車場はなく、駐車の際は十分に注意が必要である。





〔管理者・保全団体〕 小杉地区

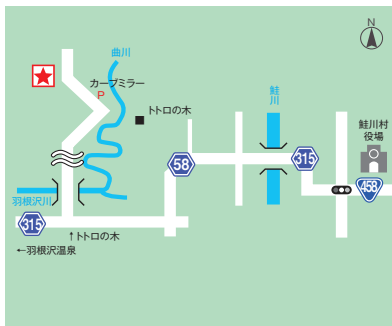
ポイント

この湧水は、小杉の大杉（通称「トトロの木」。アニメ「となりのトトロ」に出てくるトトロに似た樹形の杉の木）の近くで、その木の前を流れる曲川を挟んだ対岸にある。木陰の岩間から、竹の筒を通して冷たい清水が流れている。水受けには木の桶を配し、水音が涼しさや風情を醸し出す。大正年間に羽根沢温泉が開湯してからは、曲川地区の住民に加え、湯治に通う人が道すがらこの水で喉を潤した。名前の由来はここからきている。



アクセス (北緯38.817793°、東経140.182251°)

鮭川村内、県道315号線を西進して道なりに進むと、「羽根沢温泉」「トトロの木」の案内が見えてくる。さらに進むと「トトロの木」右折の標識があり、右折して二つ目のカーブミラーのすぐ先にある。水場の南側に2台ほどの駐車スペースがある。





にわつきかんのんのすず 庭月観音清水

鮭川村大字庭月



〔管理者〕庭崎賢恵 〔保全体〕庭月観音法灯護持会

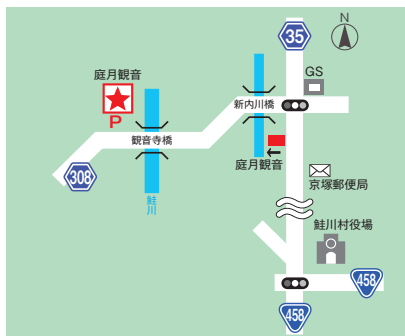
ポイント

最上三十三観音の霊場参りの結願の札所で有名な庭月観音の境内にある。千年以上の由緒を持つ本尊のご利益に加え、四千年前の縄文時代から祭祀が行われていたとされる聖地から湧き出る清水である。境内には縄文遺跡などの名所が多くあり、静寂な石段を登り見て回るの四季折々の楽しみがある。すぐ近くには清流鮭川が流れ、旧盆には灯籠流しで賑わい、仲秋の名月を愛でる名所でもある。名水を汲みに来る人も多く、大いに利用されている清水である。



アクセス (北緯38.817027°、東経140.222638°)

鮭川村役場から県道35号線を北上し、京塚郵便局を過ぎると左手に庭月観音の標識がある。その先の信号機を左折し、県道308号線に入る。1.2kmほど進むと、赤い「観音寺橋」があり、橋を渡るとすぐ右が庭月観音である(役場から約4.5km)。手前には30台以上駐車可能な広い駐車場があり、案内の看板、トイレも設置されている。





〔管理者〕阿部清 〔保全団体〕鮭川村自然保護委員会

ポイント

鮭川村南部に鮭川が大きく湾曲した河岸段丘上の集落があり、そこから湧き出ている水が米清水である。水場のある米地区は、全国でも数少ないギフチョウとヒメギフチョウの混成地であり、他では見ることの出来なくなった希少野生動植物の宝庫である。集落内から静かに湧き出ている水場は、米太平山や米湿原などを探索した後、ひと時の癒しを受けられる場所である。

米という地区名の由来は諸説あるが、「鮭の群集する川」の意味であるアイヌ語の「イ・オ・ナイ」が縮まり「ヨネ」に変わったとされている説や、コメの産地という意味からも「米」となったと伝えられている。また、米清水は管理者の先代名から「佐治兵衛すず」とも呼ばれている。



米太平山入口



米湿原

アクセス (北緯38.773749°、東経140.211076°)

鮭川村役場から国道458号線を南に1.3km程進み、右折して県道328号線を2km程進む。「米地区」と「米湿原」への案内標識がある所を左折し、800m程進むと米地区公民館がある。水場は向側の水田のそばにある。

